

代表的改修工事

久慈川が現在の姿の河道となったのは、昭和53年（1978）10月河口付替工事の概成によってである。昭和13年の着工以来、基本的な治水対策として掘削築堤護岸工事が着実に進められるとともに、里川合流部、粟原・門部、河口等における大規模な改修事業の結果、現在の久慈川が姿が形成されている。

図 3-4に改修工事の地域および実施時期を示す。

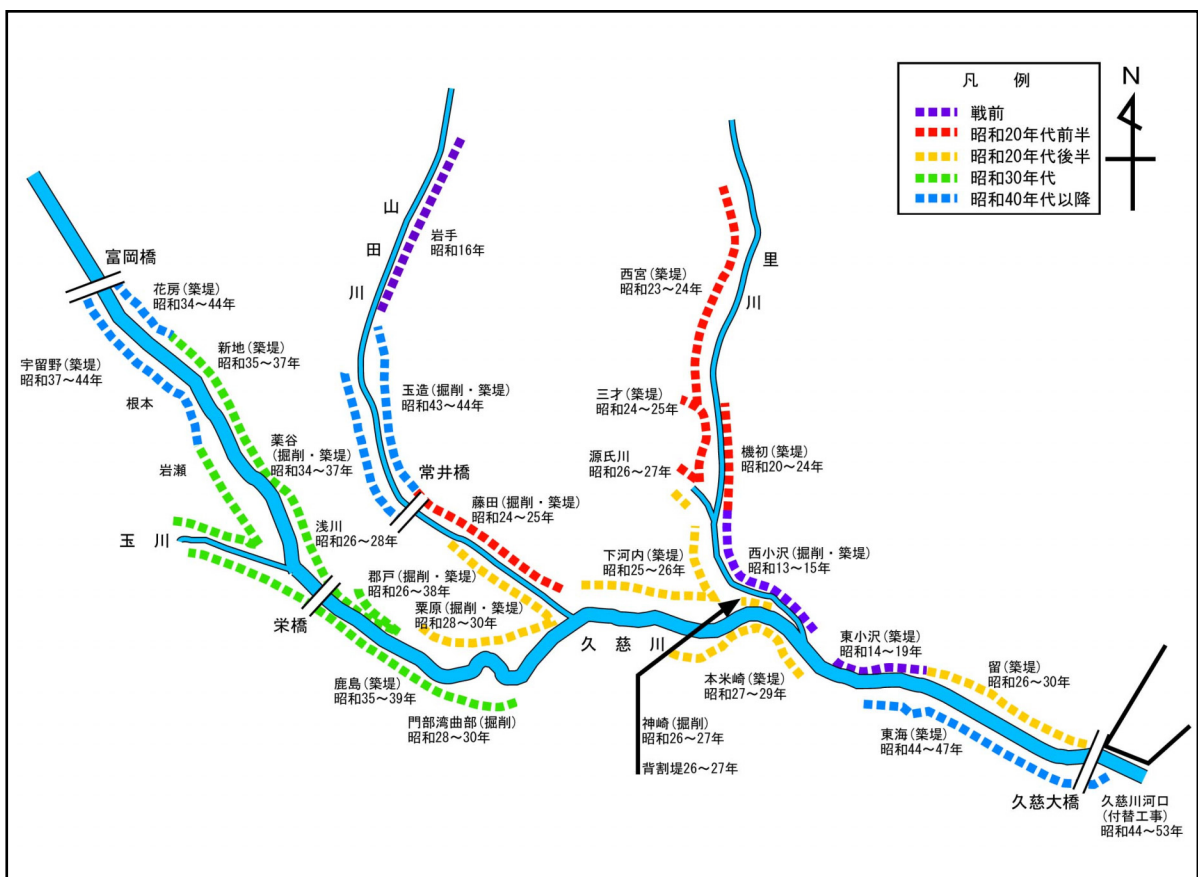


図 3-4 河川改修工事の変遷

(常陸工事事務所,「常陸五十年史」をもとに作成)